

社協だより



『傾聴ボランティアふらっと』は平成22年に社会福祉協議会主催の「傾聴ボランティア養成講座」修了後、町内の福祉施設で傾聴活動を行い、学びを続けてきました。現在14人の会員で、毎月第4金曜日に福祉会館で「ふらっとサロン」を開いています。人は思っていることを話すと心が軽くなるといわれます。秘密は守られますので安心して気軽にお立ち寄りください。



傾聴ボランティア「ふらっと」代表 時枝しのぶさん

傾聴（お話相手）サロン『ふらっとサロン』ご案内

- [日時] 10/28(金)、11/25(金)、12/16(金) 13:30～15:00 [申込み] 不要。気軽にお立ち寄りください。
[場所] 長泉町福祉会館 [参加費] 無料 [問合せ] 長泉町社会福祉協議会
[お話し相手] 傾聴ボランティアふらっとと会員（秘密は厳守いたします） TEL.055-988-3920(担当：八木)

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止する場合もあります。



赤い羽根共同募金 運動がはじまります



共同募金運動とは… 共同募金運動の期間は10月1日から翌年3月31日までの6カ月間で、全国一斉に行われます。共同募金運動は、都道府県を単位にして行われており、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や災害時支援に役立てられます。赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願いします。

NEWS >> 01

令和4年度 ①歳末たすけあい見舞金 ②地域のつながりを深める活動を行う 団体に対する助成金

①赤い羽根共同募金の一環として皆さんから寄せられる「歳末たすけあい募金」から、支援を必要とする世帯に助成する制度です。以下の項目に該当する方を対象に、歳末たすけあい見舞金の申請を受け付けます。

- (1) 令和4年9月1日現在長泉町に居住している
(2) 世帯全員の住民税が非課税
※二世帯住宅等は同一世帯として扱います。
※生活保護受給世帯は対象外です。

②「歳末たすけあい募金」から、以下の項目に該当する団体に助成する制度です。

- (1) 年末・年始の時期に地域のつながりを深める福祉活動を行う団体
高齢者サロン、子育てサロン、おせち料理等の配食、年越しそば・餅つき等の集い、クリスマス会、歳末見舞品の配布を通じた見守り活動など
(2) 長泉町内を活動範囲として1年以上の活動実績があり、構成員が5名以上である団体（ただし、一定の条件があります）

①②の申請用紙は長泉町社会福祉協議会（福祉会館）窓口でお渡しします。また、長泉町社会福祉協議会ホームページからもダウンロードができます。申請書類は下記のいずれかの方法でご提出ください。



- (1) 長泉町社会福祉協議会窓口へ直接持参（長泉町福祉会館）
[受付時間] 平日 8:15～17:15
(2) 郵送（宛先）〒411-0943 長泉町下土狩967-2
[提出期限] 11/14(月) 正午 郵送の場合も11/14(月) 必着

NEWS >> 02

令和4年8月3日からの大雨災害義援金募集

山形県、新潟県、石川県、福井県、青森県など、全国各地で洪水災害などによる人的及び家屋への甚大な被害が発生し、中央共同募金会では、被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を実施しています。長泉町社会福祉協議会の窓口でも平日受付しています。ご協力をお願いします。

- [受付期限] 12/28(水)
※長泉町社会福祉協議会ホームページに詳細を掲載しています。

NEWS >> 03

こどもの居場所づくり立ち上げ講座 受講生募集



子ども食堂 学習支援 居場所

地域の子どもの地域の人たちで、共に見守り支え合い、子どもたちを健やかに育むための活動について、一緒に学びませんか？同じ思いを持つ者同士が共に学び、共に活動していくための講座です。

- [日時] 10/29(土) 13:30～15:30
[場所] いずみの郷 3階集会室
[内容] 「子どもの居場所を始めるためには？」
「始めるために、みんなで考えよう」
[講師] 静岡県立大学経営情報学部
経営情報学科 講師 木村 綾 氏
[対象] 町内在住・在勤の方（個人、企業や団体の方など、子どもの居場所づくりに興味を持っている方などなたでも）
[費用] 無料 [定員] 50人
[申込先] 右からお申込みください。
または、長泉町社会福祉協議会へ
お問合せください。TEL.055-988-3920(担当：八木)



NEWS >> 04

2022年夏季フードドライブにご協力いただきありがとうございました

8/1(月)～8/31(水)までに福祉会館に寄せられた食品は、60.2キロになりました。実施主体「フードバンクふじのくに」に送りました。ご協力ありがとうございました。



NEWS >> 05

やさしい心ありがとう

[物品寄付(清拭布、使用済切手、野菜他)]

稲村昌子、奥田久美子、木村紀子、シニアクラブ竹原、鈴木真雄、寺内伊三夫、長泉町武術太極拳連盟、納米里こども会、野田律子、増島陽子、その他匿名11人（敬称略）

[寄付金・寄贈品]

今井啓、井本剛司、株式会社セブン・イレブン・ジャパン、株式会社芹澤工業、故 坂本紹一、長泉きせがわ会、長泉スターパチンコ、その他匿名4人（敬称略）

ご厚志に深く感謝申し上げます。(6/1～8/31)

社会福祉協議会では次の相談に応じていますのでご利用ください。(月～金曜日、祝日は除く)

- ボランティア相談／地域福祉について 8:15～17:00 TEL.055-988-3920(代表)
緊急小口資金貸付制度／住居確保給付金 8:15～17:00 TEL.055-988-3920(代表)
生活困窮相談(自立相談支援事業・家計相談支援事業)／福祉総合相談 8:15～17:00 TEL.055-987-7680

社会福祉法人 長泉町社会福祉協議会 長泉町下土狩967-2 福祉会館内
TEL.055-988-3920 FAX.055-986-3794 <http://www.nagaizumi-shakyo.jp> ✉ bureau@nagaizumi-shakyo.jp

HPは
こちらから



Question

- ① 地域福祉活動を始めたきっかけは？
- ② 活動をしてきて感じたことは？
- ③ 今後、どのような活動をしていきたいですか。

Interview

地域福祉活動に想う

地域福祉活動の実践者にお話を伺いました。

- ① 50歳で区の会計を受けた時、地域のために尽くされている区長の姿に感化され、自分も地域のために何かしたいと考え、退職後60歳でシニアクラブに入会しました。先輩会員の方々が足腰の衰えにより、クラブ活動への参加が徐々に少なくなる中で、ある女性会員から「自宅の物置を改装して地域サロンをやりたい」と相談を受けたことを契機に仲間を募ってサロン活動を始めました。
- ② コロナ禍により緊急事態宣言の3カ月活動を休止。その間に体調を崩して参加できなくなった方もいて継続することの大切さを痛感しました。
- ③ 地域の人々が自由に参加でき、笑顔や助け合いを生むきっかけにつながる場所を目指して、無縁社会の進行に抗っていきたいと思います。

- ① 町の認知症予防教室を受講し、脳に負荷をかけながら運動をすることで、認知機能の低下を防止できる大切さを学びました。教室終了後、脳広場「わかさ友の会」をスタートさせました。
- ② 合言葉は「わ(わくわくしよう)・か(体を動かしいっぱい笑おう)・さ(さあ今日も続けよう)」です。楽しく通え、同じ不安を持つ人との交流の場となることを重視しており、この活動は住み慣れた地域で支え合いながら過ごす『居場所』になっていると感じています。
- ③ 参加された方が認知症という脳の病気を少しでも理解できるよう、こつこつと継続して活動し、脳が活性化できているなど感じられるように進めていきたいと思っています。

Profile

小澤秀敏さん

平成29年より地域サロン「くつろぎ」を開設し、高齢者の憩いの場として、地域の交流の場として運営を続けている。



Profile

佐野榮子さん

平成27年より「すこやか脳教室」や地域で行われるサロン活動などで、レクリエーションを通して、認知症予防、高齢者の健康維持に努める。

地域福祉活動への参加方法

身近な人とのあいさつは参加の第一歩です。ボランティア活動への参加、社会福祉協議会会員加入(会費納入)、フードバンクの参加や寄付活動、福祉講座の受講など、さまざまな方法があります。あなたも参加してみませんか?【お問い合わせ】社会福祉協議会 TEL.055-988-3920

「第6次長泉町地域福祉活動計画」を策定しました。

社会福祉協議会では、長泉町が策定する令和4年度からの「第7次長泉町地域福祉計画」に合わせ、地域課題に対して住民が主体となり解決に向けた取り組みとなる地域福祉活動を、関係機関と連携して推進するための行動計画である「第6次長泉町地域福祉活動計画」を策定しました。基本理念は「いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ」です。新たな社会参加の機会の創出や福祉を担う人材育成、支援を必要とする方への確かな福祉サービスが提供できるように、そして、お互いを思いあう人とのつながりづくりに地域の皆さんとともに努めていきます。地域福祉活動計画は、長泉町社会福祉協議会ホームページに掲載しています。

地域福祉活動計画



とっても
大事なこ
となの!



／ おしえて、いずみん! ／

地域の福祉活動のススメ



地域の福祉活動っていったい何をするの?

そんな疑問を持つふくしくんに、長泉町社会福祉協議会40周年記念マスコットキャラクターの「いずみん」が答えてくれました。

?



なぜ、地域の活動が大切なの?

ふくしくんが引越して、家族と離れて、全然知らない場所で暮らすことになったらどう思う?



?



さみしいし、心細いなあ。地震があつたりしたらどうしよう。

そうだね。できれば知り合いのいる住み慣れた場所で暮らし続けたいよね。でも、普段の生活でちょっとしたお手伝いが必要になったときには、近所に住む人たちが顔見知りになって、みんなで助け合うことができると安心だね。そのために、普段から地域活動を通してお互いのことを知ることがとても大事だと考えて、社会福祉協議会では地域福祉活動を地域の皆さんと一緒に進めたり、活動している人を応援しているの。



小地域福祉活動の紹介

誰もが安心して生きがいの持てる生活を送ることができる地域にしていくために、各区では住民が力を合わせて小地域福祉活動推進事業に取り組んでいます。



事業推進に協力をしているシニアクラブの皆さん。行事の始めに踊ることもある「長泉音頭」のポーズ。

今まで住んでいた人だけでなく、新しく住む人もいる中で地域づくりをしていく気持ちでいます。誰でも参加できる場があることが地域のまとまりにつながっていると思います。活動のひとつに「どなたでもどうぞ」のサロンがあり(毎週月曜午前10時から)小地域運営委員として横のつながりを大事にし、シニアクラブや民生委員・児童委員、地域セミナーに協力を依頼し、生涯学習推進地域づくり活動連絡協議会委員と協力し合っています。コロナ禍ですが無理をせず、感染対策をとりながら、小さな子どもから高齢者まで参加できる場づくりを皆で相談し考えています。



上土狩区小地域福祉活動推進事業
連絡係 野木勉さん